

「ケアマネジャー実戦予想問題'24」訂正表

本書発行後に明確になった制度改正等に伴い、本書を下記の通り訂正いたします。

(_____の部分が変更箇所)

訂正箇所	誤	正
第1回 問題 16	〔問題 P17〕 問題 16 4 介護老人保健施設と介護医療院は、 <u>短期入所療養介護および通所リハビリテーション</u> の指定があったものとみなされる。	4 介護老人保健施設と介護医療院は、 <u>短期入所療養介護、訪問リハビリテーションおよび通所リハビリテーション</u> の指定があったものとみなされる。
第1回 問題19の 解説	〔解答・解説集 P7〕 問題 19 3 ○ 利用者の数が <u>35</u> またはその端数を増すごとに1人とされている。…	3 ○ 利用者の数が <u>44</u> またはその端数を増すごとに1人とされている。…
第2回 問題10の 問題文と 解説	〔問題 P48〕 問題 10 3 市町村は、標準 <u>9</u> 段階で示された所得段階をさらに細分化することができる。 〔解答・解説集 P22〕 問題 10 2 ○ 所得段階別標準 <u>9</u> 段階の保険料の場合、第5段階が〔基準額×1〕、第9段階が〔基準額×1.7〕のように定められる。 3 ○ 市町村は、条例により <u>9</u> 段階の区分を <u>10</u> 段階以上にする等、弾力的に設定することも可能である。	〔問題 P48〕 問題 10 3 市町村は、標準 <u>13</u> 段階で示された所得段階をさらに細分化することができる。 〔解答・解説集 P22〕 問題 10 2 ○ 所得段階別標準 <u>13</u> 段階の保険料の場合、第5段階が〔基準額×1〕、第9段階が〔基準額×1.7〕のように定められる。 3 ○ 市町村は、条例により <u>13</u> 段階の区分を <u>14</u> 段階以上にする等、弾力的に設定することも可能である。
第2回 問題20の 解説	〔解答・解説集 P24〕 問題 20 1 × 介護支援専門員の配置は、利用者 <u>35</u> 人に対して1人以上を基準とする。 4 ○ 管理者は、常勤・専従が原則である。ただし、選択肢5の場合、ならびに管理者が <u>同一敷地内にある他の事業所の職務に従事する場合</u> には、兼務が認められている。	1 × 介護支援専門員の配置は、利用者 <u>44</u> 人に対して1人以上を基準とする。 4 ○ 管理者は、常勤・専従が原則である。ただし、選択肢5の場合、ならびに管理者が <u>(削除) 他の事業所の職務に従事する場合</u> には、兼務が認められている。
第2回 問題29の 解説	〔解答・解説集 P27〕 問題 29 2 × 1分間の脈拍数が <u>100</u> 以上を頻脈、 <u>60</u> 未満を徐脈という。	2 × 1分間の脈拍数が <u>100</u> 以上を頻脈、 <u>50</u> 未満を徐脈という。

<p>第2回 問題42の 解説</p>	<p>〔解答・解説集 P30〕 問題 42 1 ○ 介護老人保健施設には、<u>短期入所療養介護と通所リハビリテーション</u>について、みなし指定が行われる。</p>	<p>1 ○ 介護老人保健施設には、<u>短期入所療養介護と通所リハビリテーションと訪問リハビリテーション</u>について、みなし指定が行われる。</p>
<p>第3回 問題20の 問題文</p>	<p>〔問題 P87〕 問題 20 2 居宅介護支援事業所の管理者は、管理業務に支障がない限り、<u>同一敷地内にある他の事業所の業務に従事することができる。</u></p>	<p>2 居宅介護支援事業所の管理者は、管理業務に支障がない限り、<u>（削除）他の事業所の業務に従事することができる。</u></p>
<p>第4回 問題19の 問題文と 解説</p>	<p>〔問題 P120〕 問題 19 4 <u>緊急やむを得ない理由により身体拘束等を行った場合の、その態様や時間等の記録</u> 〔解答・解説集 P60〕 問題 19 4 × <u>身体拘束等を行った場合の態様や時間等の記録の整備・保存は、介護保険施設等に義務づけられているものである。</u></p>	<p>〔問題 P120〕 問題 19 4 <u>利用者が不正行為によって保険給付を受けたことを都道府県へ通知した際の記録</u> 〔解答・解説集 P60〕 問題 19 4 × <u>利用者が不正行為によって保険給付を受けたときには、都道府県ではなく市町村に通知し、その記録を整備・保存する。</u></p>
<p>第4回 問題34の 解説</p>	<p>〔解答・解説集 P64〕 問題 34 2 ○ この3剤に加えて、<u>メマンチン</u>がアルツハイマー型認知症に対する薬として保険適応されている。…</p>	<p>2 ○ この3剤に加えて、<u>メマンチンとレカネマブ</u>がアルツハイマー型認知症に対する薬として保険適応されている。…</p>
<p>第5回 問題 1 の 解説</p>	<p>〔解答・解説集 P73〕 問題 1 5 ○ これまで指定<u>居宅介護支援事業者</u>になることができるのは、地域包括支援センターの設置者に限られていた。2023 年改正により、居宅介護支援事業者は、<u>指定介護支援事業者を兼ねることができるようになった。</u></p>	<p>5 ○ これまで指定<u>介護予防支援事業者</u>になることができるのは、地域包括支援センターの設置者に限られていた。2023 年改正により、居宅介護支援事業者は、<u>指定介護予防支援事業者を兼ねることができるようになった。</u></p>
<p>第5回 問題20の 問題文と 解説</p>	<p>〔問題 P155〕 問題 20 5 ターミナルケアマネジメント加算は、在宅で死亡した利用者について死亡月に1回算定されるもので、<u>死亡の原因となった疾患については問わない。</u> 〔解答・解説集 P79〕 問題 20 5 × <u>ターミナルケアマネジメント加算は、末期の悪性腫瘍の利用者についてのみ算定できる。…</u></p>	<p>〔問題 P155〕 問題 20 5 ターミナルケアマネジメント加算は、在宅で死亡した利用者について死亡月に1回算定されるもので、<u>加算の対象は末期の悪性腫瘍の利用者に限られる。</u> 〔解答・解説集 P79〕 問題 20 5 × <u>ターミナルケアマネジメント加算は、末期の悪性腫瘍の利用者についてのみ算定していたが、2023 年改正により末期の悪性腫瘍に限定しないことになった。…</u></p>

<p>第5回 問題30の 解説</p>	<p>〔解答・解説集 P82〕 問題 30</p> <p>1 ○ アルツハイマー型認知症に対しては、ドネペジル、ガランタミン、リバスチグミン、メマンチンの<u>4</u>剤がある。</p>	<p>1 ○ アルツハイマー型認知症に対しては、ドネペジル、ガランタミン、リバスチグミン、メマンチン、<u>レカネマブ</u>の<u>5</u>剤がある。</p>
-----------------------------	--	---